

ユーザズ ガイド

vp15 LCDモニタ

vp17 LCDモニタ

vp19 LCD

FP1707 LCDモニタ

WF1907 LCDモニタ

w1907 LCDモニタ

w2007 LCDモニタ

w2207 LCDモニタ

w2408 LCDモニタ

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られません。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP 以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HPの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Hewlett-Packard Company
10955 Tantau Avenue
Cupertino, California 95014-0770
USA

Copyright © 2006, 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR ロゴは、United States Environmental Protection Agency (米国環境保護庁) の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。

HP はテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HP の製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

ユーザーズ ガイド

vp15 LCD モニタ
vp17 LCD モニタ
vp19 LCD モニタ
FP1707 LCD モニタ
WF2907 LCD モニタ
w1907 LCD モニタ
w2007 LCD モニタ
w2207 LCD モニタ
w2408 LCD モニタ

初版 2007年3月
改訂第1版 2007年4月
製品番号 : 440143-293

日本ヒューレット・パカード株式会社

表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

注、注意、および警告

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は注、注意、および警告を示し、次のように使用されています。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。



注：補足情報を表します。

目次

1 製品の特長

HP LCDモニター	1-1
特長	1-1
モニター台のデザイン	1-2

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報	2-1
安全に関する注意事項	2-1
保守に関するガイドライン	2-1
モニターの清掃	2-2

3 モニターのセットアップ

モニターの梱包を解く	3-1
モニターの取り付け	3-1
机への設置	3-1
ダブルヒンジ モニターを開く	3-1
カンチレバー台の取り付け	3-3
コラム台の取り付け	3-3
壁へのモニターの取り付け（固定器具は付属していません）	3-4
ダブルヒンジ モニターを壁に取り付けるための準備	3-4
カンチレバー台のあるモニターを壁に取り付けるための準備	3-5
コラム台のあるモニターを壁に取り付けるための準備	3-5
モニターの脚部とモニター台を再び取り付ける方法	3-6
VGA（アナログ）およびDVI-D（デジタル）ケーブルの接続	3-6
VGAケーブルを接続するには	3-6
DVI-Dケーブルを接続するには	3-6
HDMIケーブルの接続	3-7
オーディオ ケーブルの接続	3-7
USBハブ ケーブルの接続	3-8
モニターへのUSBデバイスの接続	3-8
電源ケーブルの接続	3-9
ケーブルの管理	3-10
角度の調整	3-11
左右の向きの調整（一部のモデルのみ）	3-12
高さの調整（一部のモデルのみ）	3-12
モニターの回転（一部のモデルのみ）	3-13
周辺光センサ（一部のモデルのみ）	3-14
キーボード収納スペース	3-14

4 モニタの操作

CDソフトウェアおよびユーティリティ	4-1
ドライバのインストール	4-1
インターネットからの最新ドライバのダウンロード	4-1
自動調整機能の使用	4-2
My Display (マイ ディスプレイ) ソフトウェア	4-2
前面の各部	4-3
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) の使用	4-3
OSDメニューの選択	4-4
ビデオ入力コネクタの選択	4-7
モニタの状態の確認	4-7
画質の調整	4-7
アナログ ビデオの最適化	4-8
省電力機能	4-8
HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)	4-8

5 モニタを運搬するための準備

モニタ台の取り外し	5-1
カンチレバー台の取り外し	5-1
コラム台の取り外し	5-2
ダブルヒンジ モニタの折りたたみ	5-3

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法	A-1
HP Webサイトからのサポート情報の入手	A-2
お問い合わせになる前に	A-2
製品ラベルの位置	A-2

B 技術仕様

HP LCDモニタ	B-1
プリセット ビデオ モード	B-6
LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針	B-9
電源コードの要件	B-9

C 規定に関するご注意

有害物質の破棄	C-1
電源コードについて	C-1
日本における含有物質の表示	C-1
国際エネルギー スター プログラム	C-1
HPリサイクル プログラム	C-1
PCリサイクルシール	C-2
排出時の連絡先	C-2

HP LCDモニター

HP LCD（液晶ディスプレイ）モニターでは、アクティブマトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）画面を採用しています。このガイドでは、次のモデルについて説明します。

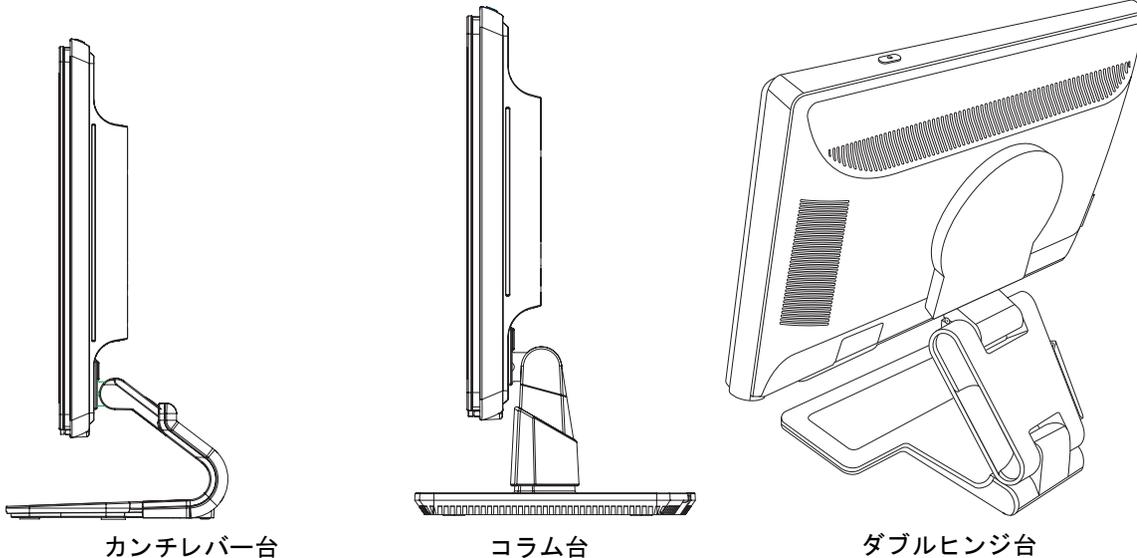
- vp15 LCDモニター
- vp17 LCDモニター
- vp19 LCDモニター
- FP1707 LCDモニター
- WF1907 LCDモニター
- w1907 LCDモニター
- w2007 LCDモニター
- w2207 LCDモニター
- w2408 LCDモニター

特長

- 対角表示領域の大きな、大型ディスプレイ
- 最適な解像度
 - vp15 : 1024×768（60 Hzの場合）
 - vp17、vp19、およびFP1707 : 1280×1024（60 Hzの場合）
 - WF1907およびw1907 : 1440×900（60 Hzの場合）
 - w2007およびw2207 : 1680×1050（60 Hzの場合）
 - w2408 : 1920×1200（60 Hzの場合）上記の解像度以下でのフルスクリーンサポート
- サポートされているビデオ入力
 - VGAアナログ信号
 - DVIデジタル信号（一部のモデルのみ）
 - HDMI（High-Definition Multimedia Interface、一部のモデルのみ）
- すばやい応答により、ゲームやグラフィックスの操作性を向上
- 座った状態、立った状態、モニタの前を通り過ぎる時など、上下左右さまざまな角度から見やすい画面
- 上下の向きの調整
- 高さの調整（一部のモデルのみ）
- 画面の回転により横向きまたは縦向きで表示（一部のモデルのみ）
- 取り外し可能な脚部、および壁など設置場所に応じて簡単に取り外しができるVESA（Video Electronics Standards Association）基準の取り付け穴
- ケンジントン社製セキュリティロックケーブル用のセキュリティロックスロット（セキュリティロックケーブルは別売です）
- プラグアンドプレイ機能（お使いのコンピュータシステムでサポートされる場合）
- 設定や画面の最適化を簡単にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による調節機能（英語、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、日本語を選択可能）

- モニタの左右の向きの調整により、可動範囲を有効に活用可能（一部のモデルのみ）
- 内蔵ステレオ スピーカ、モデルにより前面または背面に搭載
- USB（Universal Serial Bus）デバイスを接続可能なUSB 2.0ポートを装備（2つまたは4つ、一部のモデルのみ）
- 周辺光センサ（一部のモデルのみ）
- キーボード収納スペース（一部のモデルのみ）
- エネルギー消費を削減する省電力機能
- [Quick View]（クイック ビュー）設定による画面表示
- CDに収録されている内容（一部のモデルのみ）
 - ドライバ（一部のモデルのみ）
 - 自動調整ソフトウェア
 - My Display（マイ ディスプレイ）ソフトウェア（一部のモデルのみ）
 - 説明書
 - Adobe® Acrobat® Reader
- さまざまなデザインのモニタ台

モニタ台のデザイン



安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

電源コードは、お使いのモニターでの使用を目的として設計されています。別のコードを使用する場合は、このモニターに対応した電源および接続先のみを使用してください。



警告：モニター、コンピュータ、およびその他の装置は必ずアースされた電源コンセントに接続してください。感電や装置の損傷を防ぐため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。



警告：安全のために、電源コードを差し込む先のアースされた電源コンセントが、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。装置への外部電源の供給を遮断する時は、プラグをしっかりと持って電源コードを電源コンセントから抜いてください。コードは引っ張らないでください。



注意：お使いのモニターやコンピュータを保護するために、コンピュータおよびその周辺装置（モニター、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードを、サージ防止機能のあるマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合はお使いの機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

安全に関する注意事項

- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AmpsまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外す時は、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。

保守に関するガイドライン

お使いのモニターの性能を向上させ、長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、Hewlett-Packardのサポート窓口にお問い合わせください。
- このマニュアルに記載されている調整機能のみを使用するようにしてください。
- モニターを使用していない時には、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバプログラムを使用したり、モニターを使用していない時に電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために用意されています。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- 清掃の前に、モニターの電源コードを電源コンセントから抜いてください。液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- モニター台を取り外す時は、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

モニタは、清掃を行う場合に特別な注意が必要な、高品質のオプティカル デバイスです。モニタの清掃は、以下の手順で行います。

1. コンピュータとモニタの電源を切ります。
2. 清掃の前に、モニタの電源コードを電源コンセントから抜きます。



注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタ画面やキャビネットを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、モニタが損傷することがあります。液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないでください。LCD画面を拭く時に水は使用しないでください。

3. 乾燥した、柔らかい清潔な布で画面を拭きます。
 - 画面をさらに清掃する必要がある場合は、静電気防止剤の入った市販のクリーナを使用してください。
4. モニタ筐体のほこりを取ります。軽く湿らせた布を使用してキャビネットを拭きます。
 - キャビネットをさらに清掃する必要がある場合は、イソプロピル アルコールで軽く湿らせた清潔な布を使用してください。
5. モニタの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
6. モニタとコンピュータ本体の電源を入れます。

モニタのセットアップ

モニタの梱包を解く

1. モニタの梱包を解き、内容物がすべて揃っていることを確認します。梱包箱は保管しておきます。
2. コンピュータおよびその他の接続された装置の電源を切ります。
3. モニタを机に置くか、または壁に取り付けるかを決めます。「モニタの取り付け」を参照してください。
4. モニタを設置するための平らな場所を準備します。設置準備の間、モニタ画面を下向きにして置くために、平らで柔らかい、安全な場所が必要になる場合があります。
5. モニタを壁に取り付けるには、プラスのネジ回しが必要になります。また、一部のケーブルを固定するためにマイナスのネジ回しが必要になる場合があります。

モニタの取り付け

モニタは机に置くことも、壁に取り付けることもできます。モニタは作業がしやすく通気のよい、コンピュータの近くの場所に置くようにしてください。

モニタの設置先に応じて、次の項を参照してください。

- 机などの台に置く場合は、「机への設置」を参照してください。
- 壁、スイング アーム、その他の固定器具に取り付ける場合は、「壁へのモニタの取り付け（固定器具は付属していません）」を参照してください。

モニタの取り付けが終了したら、モニタ ケーブルを接続してください。

机への設置

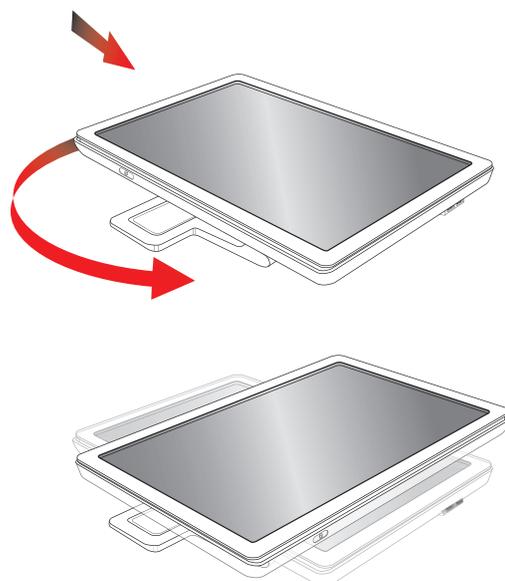
モニタの種類に合った手順で作業してください。

ダブルヒンジ モニタを開く

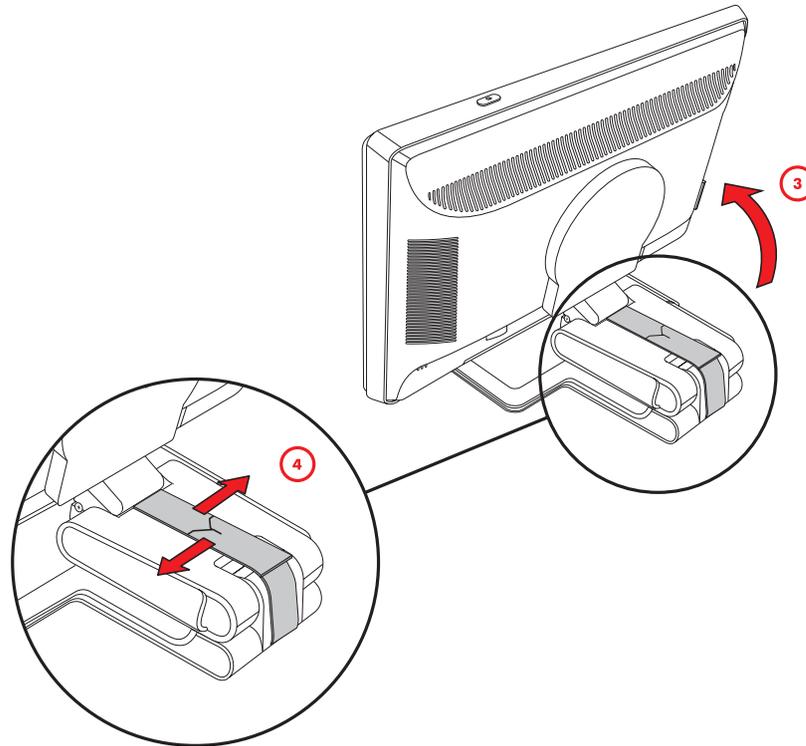


警告：ダブルヒンジ モニタを箱から取り出す時は、画面を下にしないでください。ヒンジが飛び出て、けがをする恐れがあります。

1. モニタをたたんだ状態で画面を上にして、平らな台の上に置きます。
2. 画面を横向きに回転させます（以下の図で、直線の矢印がユーザから見た方向を示します）。



3. モニタ台を押さえながら、モニターを起こします③。この時、画面に触れたり圧力をかけたりしないでください。



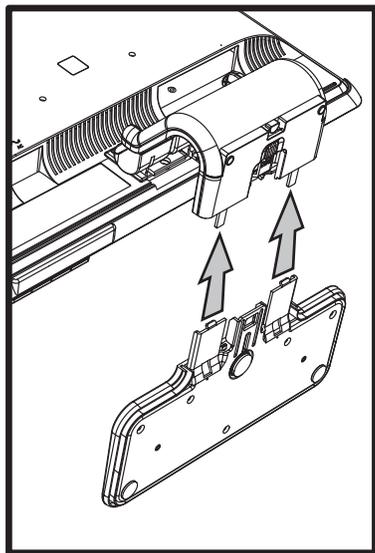
4. 運搬用ストラップを取り外します（切らないでください）④。
5. 運搬用ストラップを、将来運搬する時に備えて、安全な場所に保管しておきます。
6. 台のヒンジを上下に動かして、画面を見やすい位置に調整します。

カンチレバー台の取り付け



注意：画面は壊れやすいものです。LCD画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷する恐れがあります。

1. モニタ画面を下向きにして、平らで柔らかい、安全な場所に置きます。
2. ネックの位置をモニタ台に合わせます。
3. カチッという音がして所定の位置に収まるまで、モニタ台をスライドさせます。モニタ台が所定の位置にしっかりと固定されていることを確認してください。

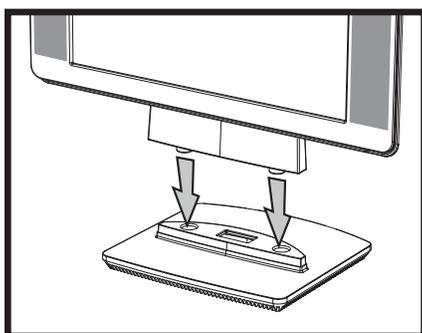


カンチレバー台の取り付け

4. モニタを直立した状態になるまで持ち上げ、平らで安定した場所に置きます。

コラム台の取り付け

1. モニタ台を平らで安定した面の上に置きます。
2. モニタを持ち上げ、脚部の位置をモニタ台に合わせます。
3. カチッという音がしてコラム台が所定の位置に収まるまで、モニタを押し下げます。コラム台がしっかりと固定されていることを確認してください。



コラム台の取り付け

壁へのモニターの取り付け（固定器具は付属していません）

モニターを壁、スイングアーム、その他の固定器具に取り付ける前に、モニター台と脚部を取り外す必要があります。これにはプラスのネジ回しが必要になります。作業を始める前に、次の警告および注意事項をお読みください。



警告：けがや装置の損傷を防ぐため、モニターを取り付ける前に、固定器具が正しく取り付けられしっかりと固定されていることを確認してください。固定器具の説明書を参照し、このモニターの重さに耐えられるものであることを確認してください。

ダブルヒンジ モニターを壁に取り付けるための準備

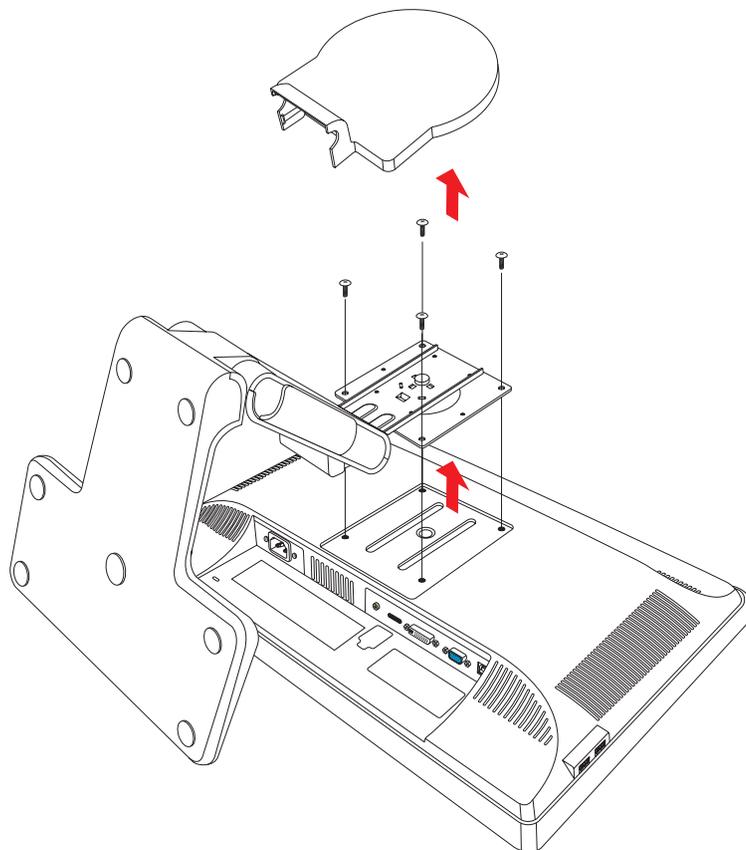


警告：運搬用ストラップを付けた状態で、ダブルヒンジ モニターの画面を下にしないでください。ヒンジが飛び出て、けがをする恐れがあります。

1. 電源コードおよびその他のケーブルをすべてモニターから取り外します。
2. モニターの画面を下にして、柔らかく平らな面に静かに置きます。これを行うために、場合によってはヒンジを伸ばして、モニターが水平になるように後ろに傾ける必要があります。
3. 指先でVESAカバーをモニターの背面から取り外します。
4. VESAプレートから4つのネジを取り外します。
5. 取り外した部品（カバー、ネジ、および台）は、将来使用する時に備えて保管しておきます。
6. 固定器具に付属の説明書に沿って操作することで、モニターを安全に取り付けます。

パネルの背面にある4つのネジ穴は、フラットパネルモニターを取り付けるためのVESA基準に準拠しています。15インチモニターは75 mm間隔の基準を使用しており、他のモデルは100 mm間隔の基準を使用しています。

スイングアームやその他の固定器具の取り付けには、この4つの穴を使用します。

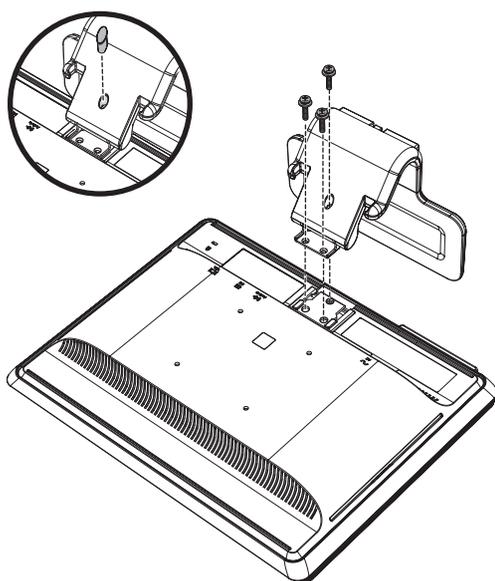


カンチレバー台のあるモニタを壁に取り付けるための準備

1. 電源コードおよびその他のケーブルをすべてモニタから取り外します。
2. モニタ台を取り外します。「モニタ台の取り外し」を参照してください。モニタの画面を下向きにして、平らで柔らかい場所に置いておきます。
3. モニタ台を取り外したら、モニタのネックに付いているゴム栓を取り外します。ゴム栓の下にネジが1つあり、パネルにもさらに2つのネジがあることがわかります。
4. 3つのネジをすべて取り外します。
5. モニタからネックを取り外します。
6. 取り外した部品（ゴム栓、ネジ、ネック、およびモニタ台）は、将来使用する時に備えて保管しておきます。
7. 固定器具に付属の説明書に沿って操作することで、モニタを安全に取り付けます。

パネルの背面にある4つのネジ穴は、フラット パネル モニタを取り付けるためのVESA基準に準拠しています。vp15モニタは75 mm間隔の基準を使用しており、他のモデルは100 mm間隔の基準を使用しています。

スイング アームやその他の固定器具の取り付けには、この4つの穴を使用します。



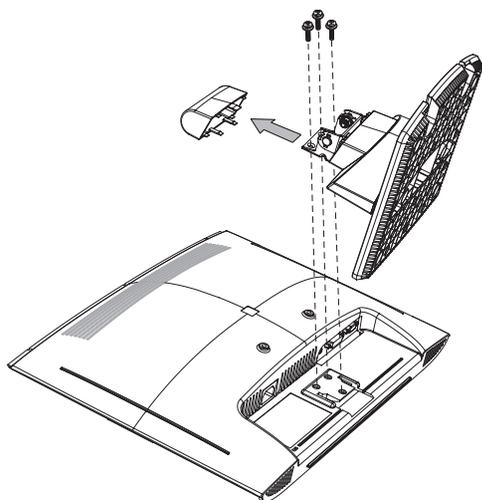
コラム台のあるモニタを壁に取り付けるための準備

1. 電源コードおよびその他のケーブルをすべてモニタから取り外します。
2. モニタの画面を下にして平らで柔らかい場所に置き、モニタ台を取り外します。「モニタ台の取り外し」を参照してください。
3. ヒンジ カバーを取り外し、安全な場所に置いておきます。3つのネジとヒンジが見えます。
4. 脚部が落ちないように押さえたまま、ヒンジの近くにあるネジ1つを取り外し、次に他の2つのネジを取り外します。必要に応じて、3つのネジすべてに手が届くように、脚部を移動してください。
5. 脚部をスライドさせてモニタ パネルから外します。
6. 取り外した部品（ネジ、ヒンジ カバー、脚部、およびモニタ台）は、将来使用する時に備えて保管しておきます。

7. 固定器具に付属の説明書に沿って操作することで、モニターを安全に取り付けます。

パネルの背面にある4つのネジ穴は、フラットパネルモニターを取り付けるためのVESA基準に準拠しています。vp15モニターは75 mm間隔の基準を使用しており、他のモデルは100 mm間隔の基準を使用しています。

スイングアームやその他の固定器具の取り付けには、この4つの穴を使用します。

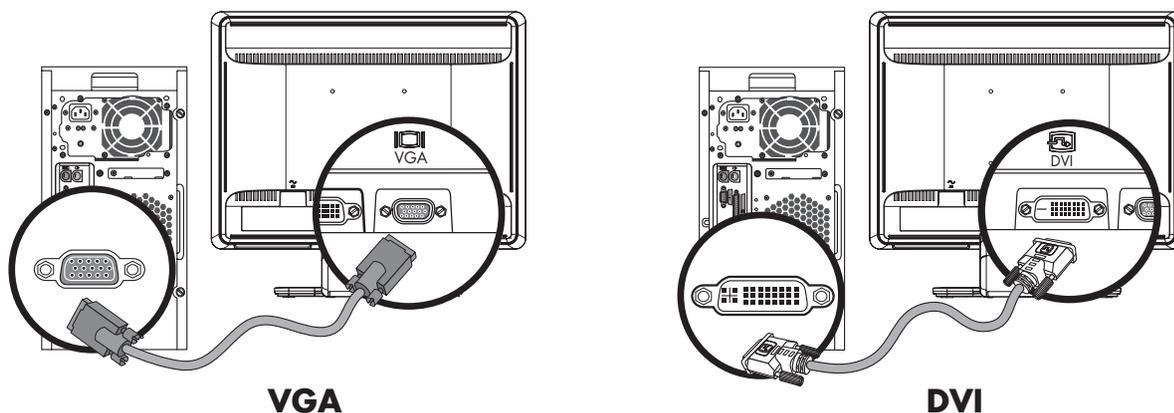


モニターの脚部とモニター台を再び取り付ける方法

1. 固定器具を取り外します。
2. 前の手順を逆に実行します。

VGA（アナログ）およびDVI-D（デジタル）ケーブルの接続

VGAケーブルまたはDVI-Dケーブル（一部のモデルに付属）を使用してください。DVIを使用するには、DVI対応のグラフィックスカードが必要です。コネクタはモニターの背面にあります。コンピュータおよびモニターの電源が切れており、電源コードが抜いてあることを確認してください。



VGAまたはDVI-Dケーブルの接続：コネクタの位置は異なる場合があります

VGAケーブルを接続するには

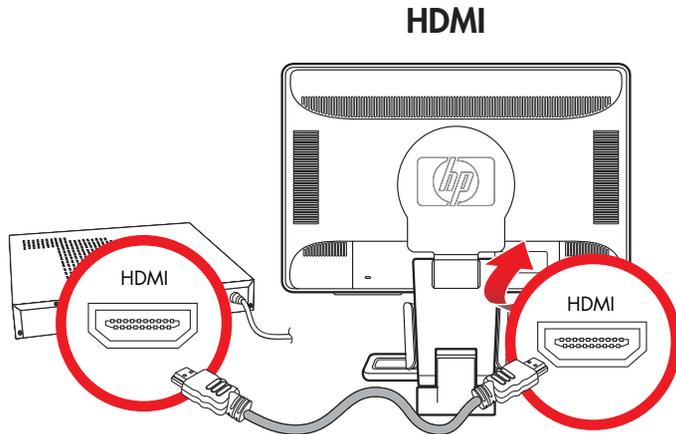
VGAビデオケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピュータのVGAビデオコネクタに接続します。

DVI-Dケーブルを接続するには

DVI-Dビデオケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピュータのDVIビデオコネクタに接続します。このケーブルを使用するには、お使いのコンピュータにDVI対応のグラフィックスカードが取り付けられている必要があります。モニターのDVI-Dコネクタおよびケーブルは、一部のモデルにのみ付属しています。

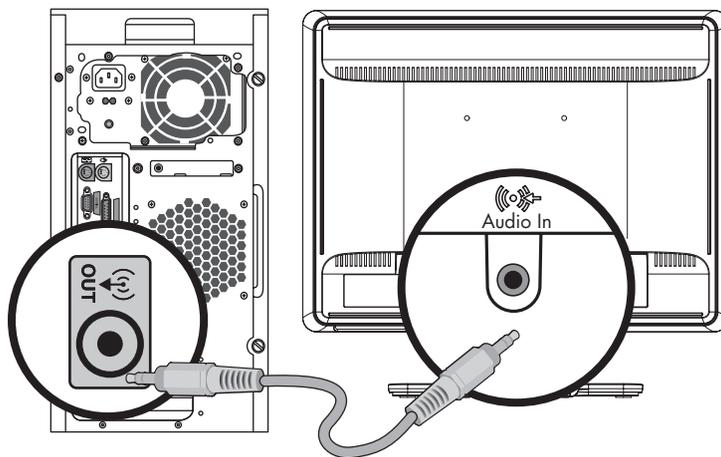
HDMIケーブルの接続

HDMIケーブル（一部のモデルのみ）の一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をセットトップボックス、DVDプレーヤ、デジタルテレビなど、対応するデジタルオーディオ/ビデオデバイスに接続します。



オーディオケーブルの接続

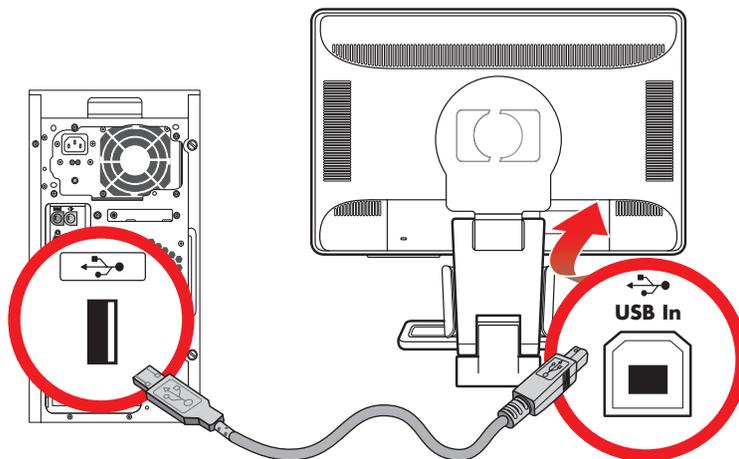
次の図に示すように、オーディオケーブルを使用して内蔵のモニタースピーカをコンピュータに接続します。



オーディオケーブルの接続：コネクタの位置は異なる場合があります

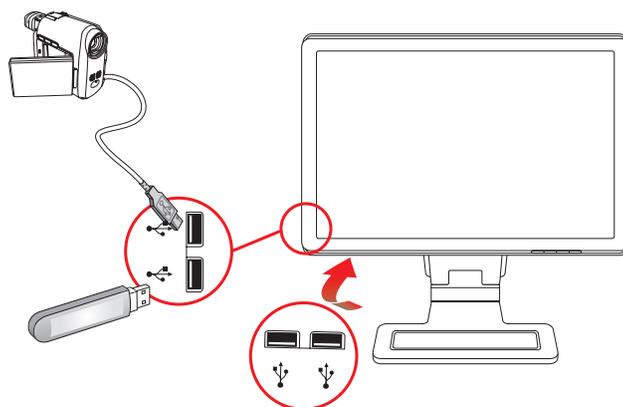
USBハブ ケーブルの接続

USBハブ ケーブルを、コンピュータからモニターのUSB Inコネクタに接続します（USB機能は一部のモデルにのみ搭載されています）。これにより、モニターのUSB 2.0ポートを使えるようになります。



モニターへのUSBデバイスの接続

モニターにはUSBデバイス（USBフラッシュドライブ、デジタルビデオカメラなど）を2つまたは4つ接続できます（一部のモデルのみ）。これを行うには、先にUSBハブ ケーブルをコンピュータからモニターに接続しておく必要があります。



電源ケーブルの接続

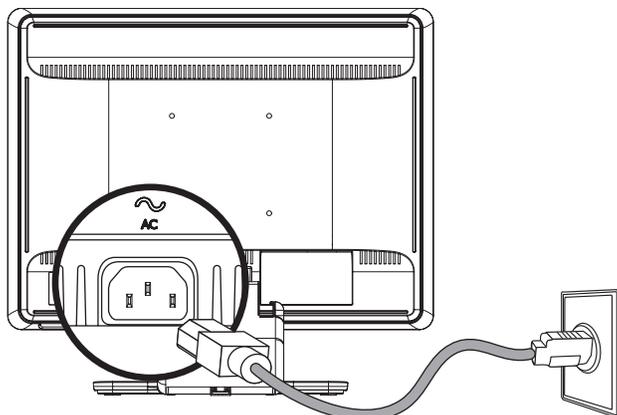
1. 次の警告を読みます。



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。電源コードはアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードを差し込む先のアースされた電源コンセントが、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。
- 電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。

詳しくは、付録Bの「電源コードの要件」を参照してください。



電源ケーブルの接続

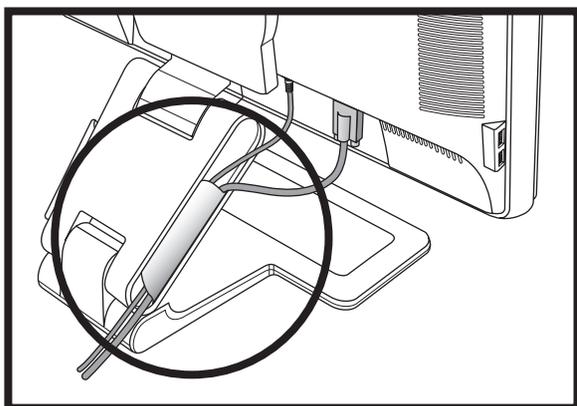
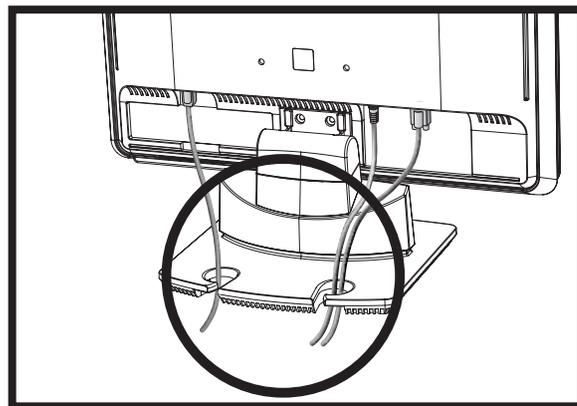
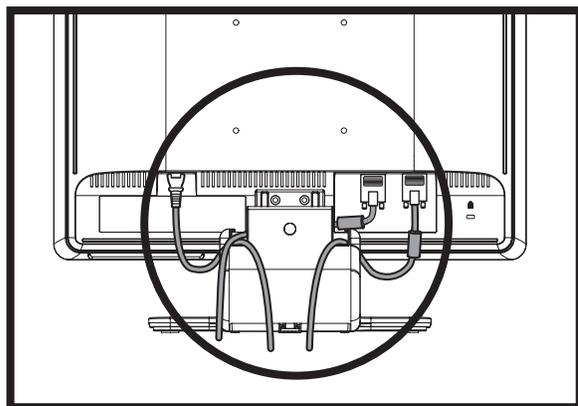
- ### 2. 電源コードの一方の端をモニターに接続し、もう一方の端をアースされた電源コンセントに接続します。

ケーブルの管理

HP LCD モニタには、ケーブルを管理するためにフックまたはケーブルトンネルが背面の左右両側に2つ付いています。ケーブルを簡単に固定して、前面からは見えないようにすることができます。



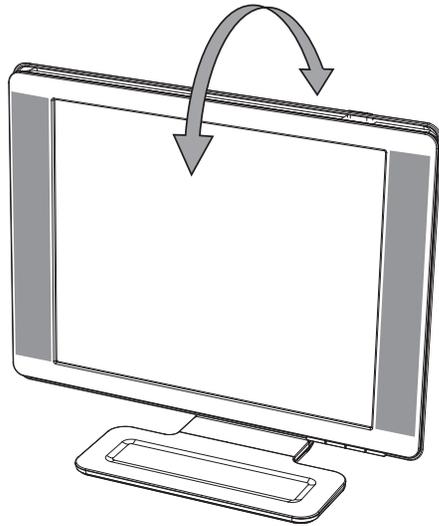
注：お使いのモニターに回転機能が搭載されている場合は、モニターを回転した時にケーブルが引っ張られて抜けたりしないように、コードの配置に余裕があることを確認してください。



角度の調整

画面を見やすくするために、次のように、好みに応じて上下の向きを調整します。

1. 上下の向きを調整している時にモニターが倒れないように、モニター台を正面から押さえます。
2. モニターの最上部を手前または奥に動かして、上下の向きを調整します。この時、画面に触れないようにしてください。

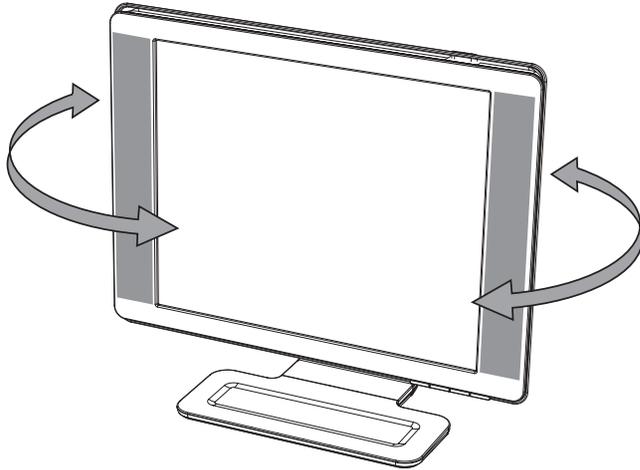


注意：ダブルヒンジ モニターのヒンジを最大限に伸ばしてモニターを後ろに傾けすぎると、モニターが後ろに倒れることがあります。



左右の向きの調整（一部のモデルのみ）

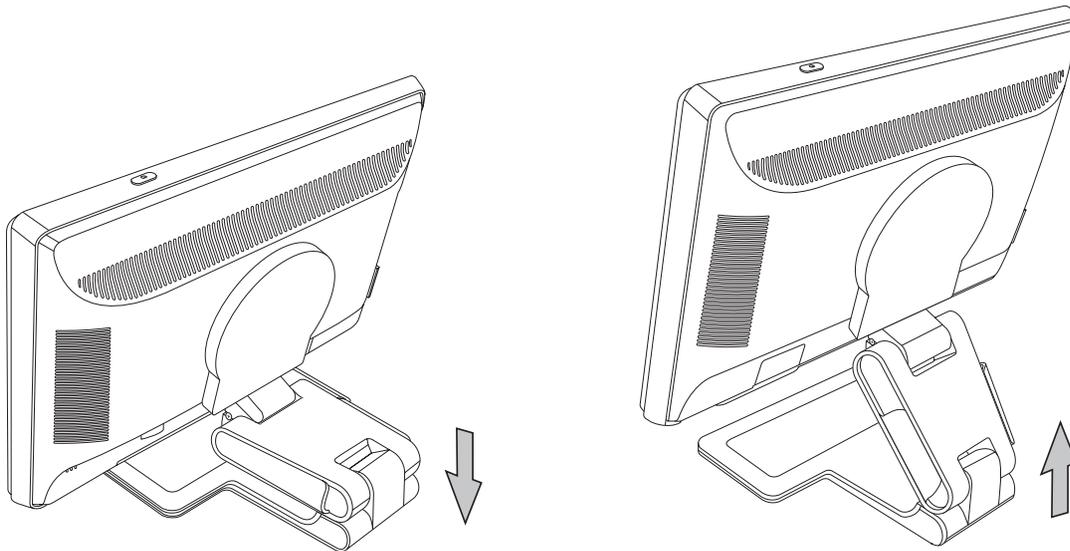
HP LCDモニターの左右の向きを調整することにより、可動範囲を有効に活用できます。



注意：上下左右の向きを調整している時にLCD画面に圧力をかけることは、故障や傷の原因になりますのでお止めください。

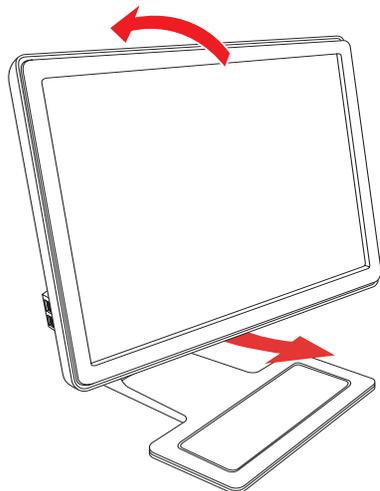
高さの調整（一部のモデルのみ）

ダブルヒンジ モニタは、ヒンジを上げたり下げたりすることで、簡単に高さを調整できます。



モニターの回転（一部のモデルのみ）

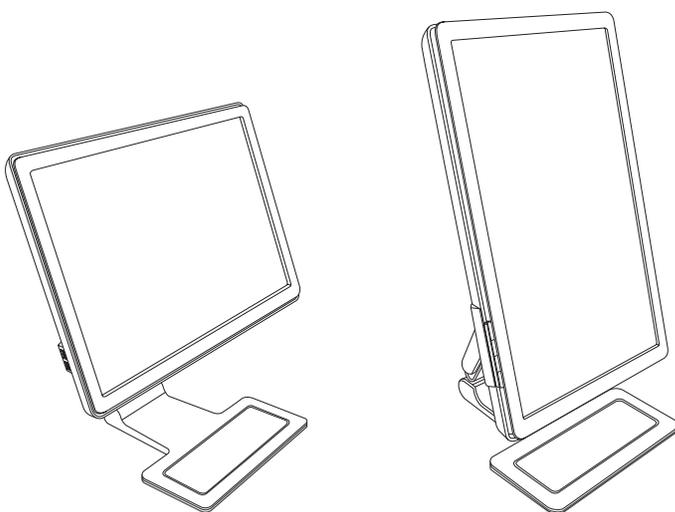
1. モニタを正面に向けて台を押さえた状態で、モニタの下部を手前に引き、10～30° 後ろに傾けます。



注意：手順1は必ず行ってください。モニタを回転する前に十分後ろに傾けておかないと、角で台を傷付けてしまう可能性があります。

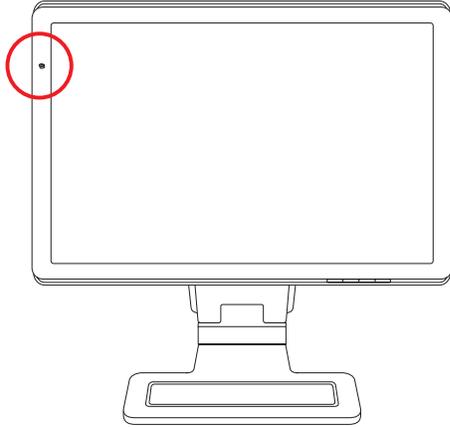


2. 横向きのモニタを縦向きにするには、後ろに傾けてから時計回りに回転させます。縦向きのモニタを横向きにするには、後ろに傾けてから反時計回りに回転させます。



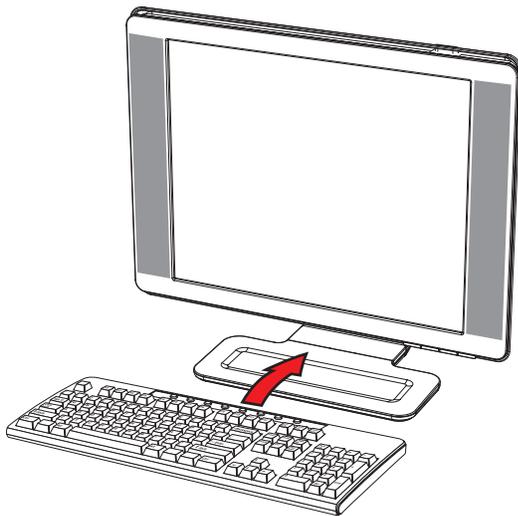
周辺光センサ（一部のモデルのみ）

モニター前面の左側にある周辺光センサにより、ディスプレイのバックライトの輝度が周囲の明るさに合わせて調整されます。初期設定では、周辺光センサはオンになっています。センサの有効/無効を手動で切り替えるには、オンスクリーンディスプレイメニュー（OSD）の[Image Control]（イメージコントロール）メインメニューを使用します。OSDの[Quick View]（クイックビュー）、[Brightness]（輝度）、[Contrast]（コントラスト）、または[sRGB]の設定を調整すると、周辺光センサは自動的に無効になります。



キーボード収納スペース

キーボードを使用していない時にモニター（一部のモデルのみ）の下に置いておくことで、机を広く使えるようになります。



CDソフトウェアおよびユーティリティ

このモニタに付属のCDには、お使いのコンピュータにインストールできるドライバおよびソフトウェアが収録されています。

ドライバのインストール

ドライバを更新する必要がある場合は、モニタドライバのINFファイルおよびICMファイルをCDからインストールするか（一部のモデルのみ）、またはインターネットからダウンロードすることができます。

モニタドライバソフトウェアをCDからインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CDをコンピュータのCDドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
2. 言語を選択します。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタドライバソフトウェアをインストールする）をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. コンピュータを再起動します。
6. コントロールパネルの[画面]の設定に、適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。詳しくは、Windowsオペレーティングシステムの説明書を参照してください。



注：インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されたモニタドライバ（INFファイルまたはICMファイル）をCDから手動でインストールすることが必要になる可能性があります。その手順については、CDの[Driver Software Readme]ファイルを参照してください（英語のみ）。

インターネットからの最新ドライバのダウンロード

最新バージョンのドライバおよびソフトウェアファイルをHPサポートサイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. <http://www.hp.com/support/>にアクセスします。
2. お住まいの国または地域を選択します。
3. **[ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]**を選択します。
4. お使いのモニタのモデル番号を入力します。お使いのモニタ用のソフトウェアダウンロードページが表示されます。
5. ダウンロードページに記載されている手順を使用して、ドライバおよびソフトウェアファイルをダウンロードし、インストールします。
6. お使いのシステムがインストール要件を満たしていることを確認します。

自動調整機能の使用

モニタの自動/選択ボタンおよび付属のCDに収録されている自動調整用パターン ソフトウェアを使用すると、VGA入力対応の画面の画質を簡単に最適化できます。

お使いのモニタがDVIまたはHDMI入力対応の場合は、この手順を行わないでください（一部のモデルのみ）。
お使いのモニタがVGA入力対応の場合は、この手順を行うことで次の画質状況が修正されます。

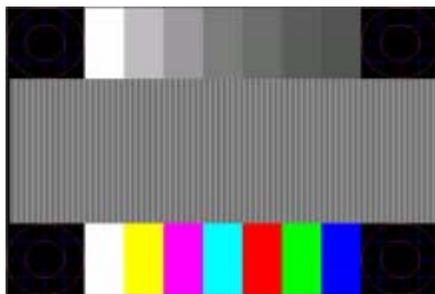
- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 画面の中央に表示できない画像



注意：モニタに長時間同じ画像を表示したままにしておくと、画像の焼き付きが発生することがあります。モニタ画面に画像の焼き付きが発生しないようにするには、常にスクリーン セーバー アプリケーションを使用するか、長時間モニタを使用しない時はモニタの電源を切るようにしてください。

自動調整機能を使用するには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源を入れてから20分間のウォーム アップ時間をとります。
2. モニタの前面にある自動/選択ボタンを押します。
 - また、メニュー ボタンを押し、OSDメニューから **[Image Control]**（イメージ コントロール） → **[Auto Adjustment]**（自動調整）の順に選択することもできます。この章の「画質の調整」を参照してください。
 - 希望する結果が得られない場合は、引き続き以下の手順で操作します。
3. CDをコンピュータのCDドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
4. 言語を選択します。
5. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。
6. セットアップのためのテスト パターンが表示されます。



自動調整のセットアップ用テスト パターン

7. モニタの前面にある自動/選択ボタンを押して、画像を安定させ中央に表示します。

My Display（マイ ディスプレイ）ソフトウェア

My Display（マイ ディスプレイ）（一部のモデルでのみ使用可能）を使用すると、最適な表示のための設定を選択できます。ゲーム、動画、写真の編集などのための設定、または文書やスプレッドシートの操作だけのための設定を選択できます。また、My Displayを使用すると、輝度、色、コントラストなどの設定も簡単に調整できます。

このソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CDをコンピュータのCDドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
2. 言語を選択します。

3. **[Install My Display Software]** (My Displayソフトウェアをインストールする) をクリックします (一部のモデルでのみ使用可能)。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. コンピュータを再起動します。

詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

前面の各部

パネルの前面には、次のコントロール ボタンがあります。

アイコン	説明
	モニタの電源を入れたり、スタンバイまたはスリープ モードにしたりします
	OSD (オンスクリーン ディスプレイ) メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
	音量レベルを調整します
	[Quick View] (クイック ビュー) メニューを開いて、ゲーム、ビデオ、写真、および文字入力のための設定をすばやく調整します
-	OSDメニューの項目間を逆方向に移動したり、調整レベルを下げたりできます
+	OSDメニューの項目間を順方向に移動したり、調整レベルを上げたりできます
Auto	ディスプレイを最適な設定に自動調整します
Select	選択したオプションを入力します

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) の使用



注: My Display (マイ ディスプレイ) OSDソフトウェア (一部のモデルのみ) またはパネル前面のコントロール ボタンを使用して設定を調整できます。

1. モニタの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニタの電源を入れます。
2. OSDメニューを表示するには、メニュー ボタンを押します。OSDの[Main Menu] (メインメニュー) が表示されます。
3. [Main Menu] (メインメニュー) または[Sub-Menu] (サブメニュー) 内を移動するには、モニタの前面にある+ (プラス) ボタンを押して上にスクロールするか、- (マイナス) ボタンを押して反対方向にスクロールします。次に、自動/選択ボタンを押して、強調表示された機能を選択します。
 - 選択項目の一番下で下へスクロールすると、メニューの一番上が強調表示されます。選択項目の一番上で上へスクロールすると、メニューの一番下が強調表示されます。
4. 選択した項目のスケールを調整するには、+ (プラス) ボタンまたは- (マイナス) ボタンを押します。
5. **[Save and Return]** (保存して戻る) を選択します。
 - 設定を保存しない場合は、[Sub-Menu] (サブメニュー) から **[Cancel]** (キャンセル) を選択するか、または[Main Menu] (メインメニュー) から**[Exit]** (終了) を選択します。
6. メニュー ボタンを押してOSDを終了します。



注: メニューが表示されている時にボタンを押さずに30秒 (出荷時の設定) が経過すると、調整した値と設定が保存され、メニューが閉じます。

OSDメニューの選択

次の表で、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) のメニュー項目と各機能について説明します。OSDのメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]** (キャンセル) : 前のメニュー レベルに戻ります。
- **[Save and Return]** (保存して戻る) : すべての変更を保存して、OSDメイン メニューの画面に戻ります。この [Save and Return] オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]** (リセット) : 前の設定に戻ります。

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
	Switch Video Input (ビデオ入力の切り替え)		アクティブかつ有効な2つのビデオ ソースにモニタが接続されている場合に、ビデオ入力信号を切り替えます
	Brightness (輝度)		画面の輝度を調整します
	Contrast (コントラスト)		画面のコントラスト レベルを調整します
	Image Control (イメージコントロール)		画像を調整します。また、周辺光センサの有効/無効を切り替えます (一部のモデルのみ)
		Auto Adjustment (自動調整)	画面を自動的に調整します (VGA入力のみ)
		Horizontal Position (水平表示位置)	画像の左右の位置を調整します (VGA入力のみ)
		Vertical Position (垂直表示位置)	画像の上下の位置を調整します (VGA入力のみ)
		Custom Scaling (カスタム スケール) (一部のモデルのみ)	モニタへの情報の表示方法を選択します。次の中から選択します Fill to Screen (スクリーンに合わせる) : 画像が画面全体を占め、高さや幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えます Fill to Aspect Ratio (縦横比に合わせる) : 画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します
		Sharpness (シャープネス) (一部のモデルのみ)	1~5の段階で、画像の鮮明度を調整します 注 : [Custom Scaling] メニューで [One to One] (1対1) を選択してある場合、画像サイズの調整と [Sharpness] 機能は無効になります
		Ambient Light Sensor (周辺光センサ) (一部のモデルのみ)	周囲の明るさに応じて画面の輝度を調整します。センサはモニタ前面の左側にあります 初期設定では、センサはオンに設定されています。OSDの [Quick View] (クイック ビュー)、[Brightness]、[Contrast]、または [sRGB] の設定を調整すると、周辺光センサは自動的に無効になります
		Clock (クロック)	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます (VGA入力のみ)
		Clock Phase (クロック フェーズ)	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります (VGA入力のみ)
	Color (色)		画面の色を選択します。工場出荷時の初期設定値は、モデルに応じて6500 Kまたはカスタム カラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明 (続き)
		Custom Color (カスタム カラー)	カラー スケールを選択および調整します R : 赤色のレベルを設定します G : 緑色のレベルを設定します B : 青色のレベルを設定します
		sRGB	画面の色をイメージ テクノロジ業界で使用される規格に準拠した色に設定します
	Quick View (クイック ビュー)		表示モードを選択します
		Movie (動画)	動画モードを選択します
		Photo (写真)	写真モードを選択します
		Gaming (ゲーム)	ゲーム モードを選択します
		Text (文字入力)	文字入力モードを選択します
		Custom (カスタム)	ユーザが[Quick View]のどれかのオプションで[Brightness]、[Contrast]、または[Color]を調整した時に保存された設定です
	Language (言語)		OSDメニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Management (マネジメント)		モニタの電源管理機能を調整します
		Volume (音量)	音量レベルを調整します
		OSD Control (OSDコントロール)	画面上のOSDメニューの位置を調整します Horizontal OSD Position (OSD 水平表示位置) : OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期設定値は50です  Vertical OSD Position (OSD 垂直表示位置) : OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期設定値は50です  OSD Transparency (OSD透明度) : OSDの背景にある情報を表示するよう調整します  OSD Timeout (OSDタイムアウト) : 最後にボタンを押してからOSDの表示が維持される時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時の初期設定値は30秒です 
		Power Saver (省電力)	省電力機能を有効にします (4-8ページの「省電力機能」を参照してください)。次の中から選択します On (オン) Off (オフ) 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display (モード表示)	OSDメイン メニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュレートおよび周波数の情報を画面に表示します。次の中から選択します On (オン) Off (オフ) 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明（続き）
		Power-On Status Display (電源オンのステータス表示)	モニタの電源がオンになるたびに、モニタの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します Top（上） Middle（中） Bottom（下） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
		DDC/CI Support (DDC/CIサポート)	コンピュータで、輝度、コントラスト、色温度などの一部のOSDメニュー機能を制御できるようにします。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Bezel Power LED (ベゼルの電源ランプ) (一部のモデルのみ)	電源ボタンのランプを点灯または消灯させます。[Off]（オフ）に設定されていると、ランプは常に消灯したままになります
		Sleep Timer (スリープ タイマ)	タイマ調整のメニュー オプションを表示します Set Current Time（現在時刻の設定）：時間と分単位で現在の時刻を設定します Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）：モニタがスリープモードに入る時刻を設定します Set on Time（電源オンの時刻の設定）：スリープ モードから復帰する時刻を設定します Timer（タイマ）：スリープ タイマ機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです Sleep Now（スリープ モードの実行）：直ちにモニタがスリープモードに入るように設定します
		Default Video Input (デフォルトのビデオ入力)	モニタが2つの有効なビデオ ソースに接続されている場合に、初期設定のビデオ入力信号を選択します。初期設定値はDVIです。変更を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります
	Information (情報)		モニタに関する重要な情報を選択および表示します
		Current Settings (現在の設定)	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings (推奨設定)	お使いのモニタに推奨される解像度モードおよびリフレッシュ レートを表示します
		Serial Number (シリアル番号)	モニタのシリアル番号を表示します。シリアル番号はHPのテクニカル サポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		Version（バージョン）	モニタのファームウェア バージョンを表示します
		Backlight Hours (バックライト動作時間)	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support (サービス サポート)	サービス サポートを受けるには、 http://www.hp.com/support/ を参照してください
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		設定を工場出荷時の設定に戻します

ビデオ入力コネクタの選択

入力コネクタには次の種類があります。

- VGAコネクタ（アナログ）
- DVI-Dコネクタ（デジタル）（一部のモデルのみ）
- HDMIコネクタ（一部のモデルのみ）

有効なビデオ信号がどちら側に入力されているかはモニタで自動的に判別され、画像が表示されます。

VGAケーブルかDVI-Dケーブル、またはその両方を接続できます。両方のケーブルが接続されている場合、入力方式は初期設定でDVIになります。HDMIケーブルはDVI-Dケーブルの代わりに使用します。入力のソースは、OSDメニューの **[Switch Video Input]**（ビデオ入力の切り替え）オプションを使用して変更できます。

モニタの状態の確認

モニタが以下の状態になると、特別なメッセージがモニタ画面に表示されます。

- **[Input Signal Out of Range]**（範囲外の信号を入力しています）：解像度またはリフレッシュレートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタがビデオカードの入力信号をサポートできないことを示します。
ビデオカードの解像度またはリフレッシュレートの数値を下げます。新しい設定値を有効にするには、コンピュータを再起動します。
- **[Monitor Going to Sleep]**（スリープに入る）：モニタがスリープモードになることを示します。スリープモードでは、スピーカの電源が切れます。
- **[Check Video Cable]**（ビデオケーブルのチェック）：ビデオ入力ケーブルがコンピュータまたはモニタに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lock-out]**（OSDロックアウト）：前面にあるメニューボタンを10秒間押し続けると、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を有効または無効にすることができます。OSDをロックすると、[OSD Lock-out]という警告メッセージが10秒間表示されます。
 - OSDがロックされている場合、ロックを解除するにはメニューボタンを10秒間押し続けます。
 - OSDのロックが解除されている場合、ロックするにはメニューボタンを10秒間押し続けます。
- **[No Input Signal]**（入力信号がありません）：モニタがビデオ入力コネクタでコンピュータからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピュータまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Auto Adjustment in Progress]**（自動調整中です）：自動調整機能が有効であることを示します。この章の「画質の調整」を参照してください。

画質の調整

新しいビデオモードで画像が表示されるたびに、自動調整機能によって画質（表示のサイズ、位置、クロック、およびフェーズ）が自動的に調整されます。VGA入力をより厳密に調整するには、CDに収録されている自動調整ソフトウェアを実行します。この章の「自動調整機能の使用」を参照してください。

画質をさらに改善したい場合は、モニタの[Clock]（クロック）と[Clock Phase]（クロックフェーズ）の機能を使用して画像を調整します。この章の「アナログビデオの最適化」を参照してください。

アナログ ビデオの最適化

このモニタには、標準のアナログ モニタとして動作できるようにするための高度な回路が組み込まれています。OSDメニューにある次の2つの機能を調整して、アナログの画質を向上させることができます。

- [Clock] (クロック) : 値を増減することで、画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- [Clock Phase] (クロック フェーズ) : 値を増減することで、画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

自動調整機能を使用しても、アナログ モードで希望するモニタ画像が得られない場合にのみ、これらの機能を使用してください。

最適な結果を得るには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源を入れてから20分間のウォーム アップ時間をとります。
2. CDに収録されている調整パターン アプリケーションを表示します。
3. OSDメニューを表示し、**[Image Control]** (イメージ コントロール) を選択します。
4. 最初にメインの[Clock]設定を正しく設定してください。[Clock Phase]設定はメインの[Clock]設定に依存するためです。
 - [Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整している時にモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。

工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューを表示し、**[Factory Reset]** (出荷時設定にリセット) を選択してから、**[Yes]** (はい) を選択します。

省電力機能

モニタが通常の動作モードの時、電源ランプは水色または緑色 (モデルによって異なります) に点灯し、モニタは通常のワット数を消費します。消費電力については、「技術仕様」(付録B) を参照してください。

このモニタではまた、コンピュータが制御する省電力モードもサポートされています。モニタが省電力状態の時、モニタ画面には何も表示されず、バックライトは消灯し、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この時、モニタは最小限の電力を消費しています。モニタが省電力状態から復帰すると、短時間のウォームアップの後、通常の動作モードに戻ります。水平同期信号または垂直同期信号のどちらかが検出されない場合、モニタは省電力状態になります。この機能を動作させるには、お使いのコンピュータで省電力機能を有効にする必要があります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、お使いのコンピュータに付属の説明書を参照してください (省電力機能は、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書により名称が異なる場合があります)。



注：省電力機能は、モニタが省電力機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ動作します。

HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)

お使いのモニタがHDCPをサポートしている場合は、高精細度コンテンツを受信できます。高精細度コンテンツは、HD-DVD機器やBlu-Ray機器、地上波またはケーブル テレビの高精細度放送などの多くのソースで使用されます。お使いのモニタがHDCPに対応していない場合は、保護された高精細度コンテンツを再生すると、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示されることがあります。保護されたコンテンツを表示するには、コンピュータのグラフィックス カードとモニタの両方がHDCPをサポートしている必要があります。

モニタを運搬するための準備

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

HP LCDモニタを運搬する時は、場合によってはモニタ台を取り外す必要があります。

モニタ台の取り外し



警告：モニタが直立した状態にある時は、脚部からモニタ台を取り外さないでください。モニタが直立した状態にある時に脚部からモニタ台を取り外そうとすると、ユーザがけがをする恐れがあります。



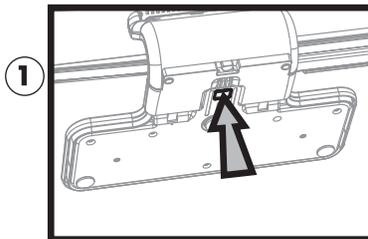
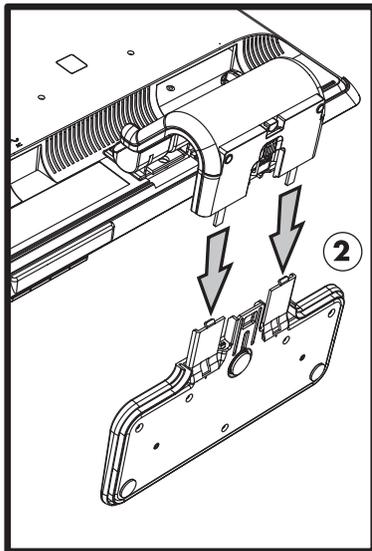
警告：モニタを取り外したり折りたたんだりする前に、モニタの電源を切り、電源、ビデオ、およびオーディオ ケーブルをすべて取り外してください。装置への外部電源の供給を遮断する時は、電源コードをしっかりと持って電源コンセントから抜いてください。コードは引っ張らないでください。



注意：画面は壊れやすいものです。モニタ画面を下向きにして、平らな柔らかい場所に置くことで、傷や汚れ、破損などを防止できます。LCD画面に圧力を加えることは避けてください。画面が損傷する恐れがあります。

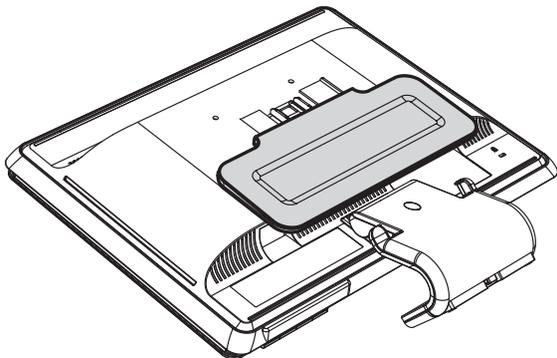
カンチレバー台の取り外し

1. モニタから電源、ビデオ、およびオーディオ ケーブルを取り外します。
2. モニタ画面を下向きにして、平らで柔らかい、安全な台の上に置きます。
3. カンチレバー台の中央のタブを押し込み①、モニタからカンチレバー台を取り外します②。



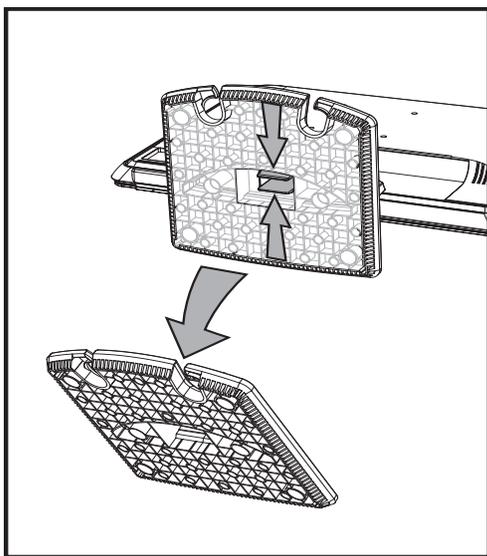
カンチレバー台の取り外し

4. モニタのネックを折りたたんで、モニタおよびモニタ台を元の梱包箱に収納します。



コラム台の取り外し

1. モニタから電源、ビデオ、およびオーディオ ケーブルを取り外します。
2. モニタ画面を下向きにして、平らで柔らかい、安全な台の上に置きます。
3. 片方の手でタブをつまんだままにし、もう一方の手でコラム台をモニタから引っ張って取り外します。

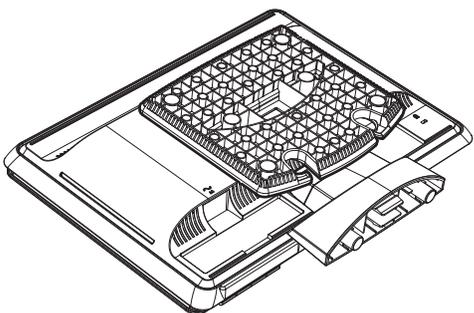


コラム台の取り外し



警告：台を取り外す時に、指をはさんだりこすったりしないように注意してください。

4. モニタおよびモニタ台を元の梱包箱に収納します。



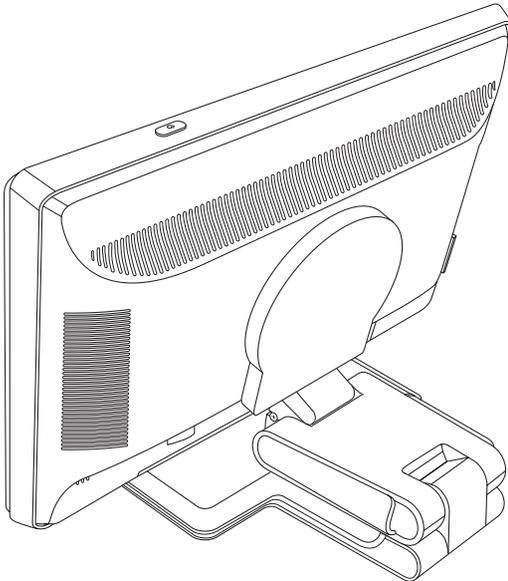
ダブルヒンジ モニタの折りたたみ

モニタを運搬する場合に、モニタ台を取り外す必要はありません。ダブルヒンジ モニタを運搬する場合は、梱包箱に入っていた時と同じように折りたたみます。

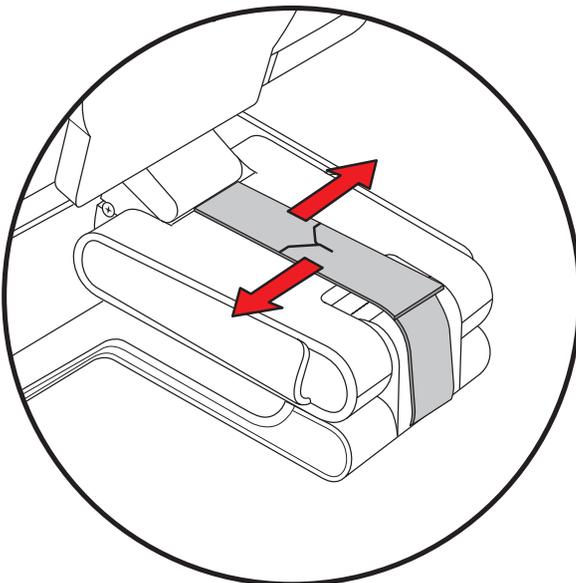


警告：ダブルヒンジ モニタを折りたたむ時は、画面を下にして置かないでください。モニタ台のヒンジが飛び出て、けがをする恐れがあります。

1. モニタを横向きに回転させて、傾きをまっすぐに直します。
2. ヒンジが水平になるまでモニタの高さを下げます。
ヒンジに手が届くようにするため、モニタ画面は机に対して垂直にしておく必要があります。

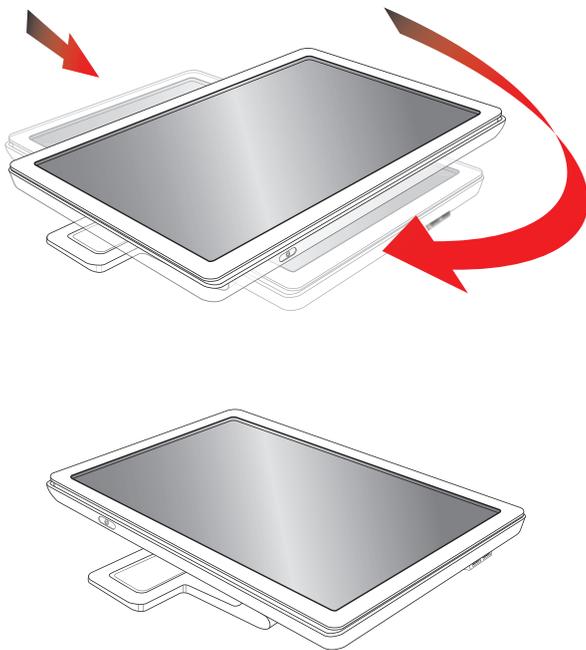


3. 運搬用のストラップをモニタ台に巻いて強く締め、ストラップの端を切り込みに差し込むことで両端をつなぎます。



4. 机に対して水平になるようにモニタを下げます。

5. モニタを縦向きに回転させます（以下の図で、直線の矢印がユーザから見た方向を示します）。



6. 折りたたんだモニタを、画面を上にして元の梱包箱に収納します。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	解決方法
電源ランプが点灯していない	電源ボタンを押してあり、電源コードがアースされた電源コンセントとモニタに正しく接続されていることを確認します OSDメニューの[Bezel Power LED] (ベゼルの電源ランプ) オプションが[Off] (オフ) に設定されていないかどうか確認し、設定されている場合は[On] (オン) モードに設定します
画面に何も表示されない	電源コードを接続して、電源を入れます ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは「モニタのセットアップ」を参照してください キーボードのキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
高精細度 (HD) コンテンツを表示している時に、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示される	お使いのモニタとコンピュータがHDCPIに対応しているかどうかを確認します 詳しくは、「HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)」または http://www.hp.com/support/ を参照してください
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	モニタの前面にある自動/選択ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、メニューボタンを押してOSDメニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	メニュー ボタンを押してOSDメニューを表示します。[Image Control] (イメージ コントロール) を選択してから、[Horizontal Position] (水平表示位置) または[Vertical Position] (垂直表示位置) を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
画面に[Check Video Cable] (ビデオケーブルのチェック) と表示される	モニタのVGAビデオ ケーブルをコンピュータのVGAコネクタに接続するか、またはDVI-Dビデオ ケーブルをコンピュータのDVIコネクタに接続します。ビデオ ケーブルを接続する時にコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
画面に[Input Signal Out of Range] (範囲外の信号を入力しています) と表示される	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。サポートされている設定値に変更します (付録Bの「プリセット ビデオ モード」にある表を参照)。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします
画像がぼやけており、ゴーストや影が表示される	コントラストおよび輝度を調整します 延長ケーブルやスイッチ ボックスを使用していないことを確認します。コンピュータの背面にあるグラフィックス カードの出力コネクタに、モニタを直接接続することをおすすめします VGA入力を使用している場合は、自動調整機能によってこの問題が解決されることがあります
モニタを最適な解像度に設定できない	グラフィックス カードが最適な解像度をサポートしていることを確認します グラフィックス カードでサポートされる最新のドライバがインストールされていることを確認します。HPシステムおよびCompaqシステムの場合は、 http://www.hp.com/support/ からお使いのシステムの最新のグラフィックス ドライバをダウンロードできます その他のシステムの場合は、お使いのグラフィックス カードのWebサイトを参照してください

トラブル	解決方法（続き）
プラグ アンド プレイ機能が動作しない	モニタのプラグ アンド プレイ機能が動作するには、プラグ アンド プレイ機能に対応したコンピュータとグラフィックス カードが必要です。お使いのコンピュータの製造販売元に確認してください モニタのビデオ ケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します HP モニタ ドライバがインストールされていることを確認します。詳しくは「ドライバのインストール」を参照してください。HP モニタ ドライバは、 http://www.hp.com/support/ からも入手できます
画像が揺れたり、ちらついたり、波模様が表示されたりする	電氣的な干渉を引き起こす可能性のある電気製品を、モニタからできるだけ遠ざけます お使いの解像度に対応した、モニタの最大リフレッシュ レートを使用します
モニタが常にスリープ モード（オレンジ色のランプ）になっている	コンピュータの電源スイッチがオンになっている必要があります コンピュータのグラフィックス カードが所定のスロットにしっかりと差し込まれている必要があります モニタのビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されていることを確認します モニタのビデオ ケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します お使いのコンピュータが動作していることを確認します。それには、[Caps Lock] キーを押し、ほとんどのキーボードにある Caps Lock ランプの状態を調べます。コンピュータが動作していれば、[Caps Lock] キーを押すたびにランプが点灯または消灯するはずですが
USB 2.0 ポートが動作しない	USB ハブ ケーブルをモニタおよびコンピュータにしっかりと接続します

HP Web サイトからのサポート情報の入手

カスタマ サービスにお問い合わせになる前に、<http://www.hp.com/support/> の HP テクニカル サポートを参照してください。

お住まいの国または地域を選択し、お使いのモニタのサポート ページへのリンクをクリックします。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートをご利用ください。テクニカル サポートのお問い合わせ先については、モニタに付属の冊子を参照してください。テクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタのモデル番号（モニタ背面のラベルに記載されています）
- モニタのシリアル番号（モニタ背面のラベルに記載されています。OSD の [Information]（情報）メニューからも確認できます）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生した時の状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- お使いのハードウェアおよびソフトウェアの名称とバージョン

製品ラベルの位置

モニタの製品ラベルには製品番号とシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニタについて HP にお問い合わせになる時に、これらの番号が必要になる場合があります。

製品ラベルはモニタの背面にあります。

以下の仕様はすべて、HPの部品製造元から提供されている標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP LCDモニター

表面処理：ハード コーティング処理済み反射防止偏光子（一部のモデルのみ）

入力端子：

- VGA 15ピンDタイプ コネクタ
- DVI-D 24ピンDタイプ コネクタ（一部のモデルのみ）
- HDMIコネクタ（一部のモデルのみ）

仕様

vp15モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ：	38.1 cm
表示可能画像サイズ：	15.0インチ/38.1 cm（対角方向）
傾斜角度：	-5~+25°
最大質量（非梱包時）：	3.1 kg
寸法（モニタ台を含む） （高さ×幅×奥行き）：	354×405×195 mm
最大グラフィックス解像度：	1024×768（75 Hz）アナログ モード
最適グラフィックス解像度：	1024×768（60 Hz）アナログ モード
テキスト モード：	720×400
ドット ピッチ：	0.297×0.297 mm
水平周波数（アナログ モード）：	24~63 kHz
垂直周波数（アナログ モード）：	50~76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5~35°C
非動作時：	-20~60°C
相対湿度：	20~80%
電源：	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大31 W
スリープ モード時の消費電力：	標準2 W未満

仕様（続き）

vp17モデル

ディスプレイのタイプ :	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ :	43.2 cm
表示可能画像サイズ :	17.0インチ/43.2 cm (対角方向)
傾斜角度 :	-5~+25°
最大質量 (非梱包時) :	5.3 kg
寸法 (モニタ台を含む) (高さ×幅×奥行き) :	398×440×184 mm
最大グラフィックス解像度 :	1280×1024 (75 Hz) アナログ モード
最適グラフィックス解像度 :	1280×1024 (60 Hz) アナログ モード
テキスト モード :	720×400
ドット ピッチ :	0.264×0.264 mm
水平周波数 (アナログ モード) :	24~83 kHz
垂直周波数 (アナログ モード) :	50~76 Hz
環境条件	
温度 (高度には依存しない)	
動作時 :	5~35°C
非動作時 :	-20~60°C
相対湿度 :	20~80%
電源 :	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力 :	最大45 W
スリープ モード時の消費電力 :	標準2 W未満

vp19モデル

ディスプレイのタイプ :	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ :	48.3 cm
表示可能画像サイズ :	19.0インチ/48.3 cm (対角方向)
傾斜角度 :	-5~+25°
最大質量 (非梱包時) :	5.3 kg
寸法 (モニタ台を含む) (高さ×幅×奥行き) :	427×484×184 mm
最大グラフィックス解像度 :	1280×1024 (75 Hz) アナログ モード
最適グラフィックス解像度 :	1280×1024 (60 Hz) アナログ モード
テキスト モード :	720×400
ドット ピッチ :	0.294×0.294 mm
水平周波数 (アナログ モード) :	24~83 kHz
垂直周波数 (アナログ モード) :	50~76 Hz
環境条件	
温度 (高度には依存しない)	
動作時 :	5~35°C
非動作時 :	-20~60°C
相対湿度 :	20~80%
電源 :	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力 :	最大47 W
スリープ モード時の消費電力 :	標準2 W未満

仕様（続き）

FP1707モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ：	43.2 cm
表示可能画像サイズ：	17.0インチ/43.2 cm（対角方向）
傾斜角度：	-5~+25°
最大質量（非梱包時）：	4.6 kg
寸法（モニタ台を含む） （高さ×幅×奥行き）：	392×441×207 mm
最大グラフィックス解像度：	1280×1024（75 Hz）アナログ モード
最適グラフィックス解像度：	1280×1024（60 Hz）アナログ モード
テキスト モード：	720×400
ドット ピッチ：	0.264×0.264 mm
水平周波数（アナログ モード）：	24~83 kHz
垂直周波数（アナログ モード）：	50~76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5~35°C
非動作時：	-20~60°C
相対湿度：	20~80%
電源：	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大45 W
スリープ モード時の消費電力：	標準2 W未満

WF1907モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ：	48.3 cm
表示可能画像サイズ：	19.0インチ/48.3 cm（対角方向）
傾斜角度：	-5~+25°
最大質量（非梱包時）：	4.9 kg
寸法（モニタ台を含む） （高さ×幅×奥行き）：	374×511×207 mm
最大グラフィックス解像度：	1440×900（60 Hz）アナログ モード
最適グラフィックス解像度：	1440×900（60 Hz）アナログ モード
テキスト モード：	720×400
ドット ピッチ：	0.294×0.294 mm
水平周波数（アナログ モード）：	24~83 kHz
垂直周波数（アナログ モード）：	50~76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5~35°C
非動作時：	-20~60°C
相対湿度：	20~80%
電源：	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大49 W
スリープ モード時の消費電力：	標準2 W未満

仕様（続き）

w1907モデル

ディスプレイのタイプ :	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ :	48.3 cm
表示可能画像サイズ :	19.0インチ/48.3 cm (対角方向)
傾斜角度 :	-5~+25°
最大質量 (非梱包時) :	5.0 kg
寸法 (モニタ台を含む) (高さ×幅×奥行き) :	380×454×185 mm
最大グラフィックス解像度 :	1440×900 (60 Hz) アナログ モード
最適グラフィックス解像度 :	1440×900 (60 Hz) アナログ モード
テキスト モード :	720×400
ドット ピッチ :	0.283×0.284 mm
水平周波数 (アナログ モード) :	24~83 kHz
垂直周波数 (アナログ モード) :	50~76 Hz
環境条件	
温度 (高度には依存しない)	
動作時 :	5~35°C
非動作時 :	-20~60°C
相対湿度 :	20~80%
電源 :	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力 :	最大49 W
スリープ モード時の消費電力 :	標準2 W未満

w2007モデル

ディスプレイのタイプ :	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ :	50.8 cm
表示可能画像サイズ :	20.0インチ/50.8 cm (対角方向)
傾斜角度 :	-5~+25°
最大質量 (非梱包時) :	6.0 kg
寸法 (モニタ台を含む) (高さ×幅×奥行き) :	397×490×184 mm
最大グラフィックス解像度 :	1680×1050 (60 Hz) アナログ モード
最適グラフィックス解像度 :	1680×1050 (60 Hz) アナログ モード
テキスト モード :	720×400
ドット ピッチ :	0.282×0.282 mm
水平周波数 (アナログ モード) :	24~83 kHz
垂直周波数 (アナログ モード) :	55~76 Hz
環境条件	
温度 (高度には依存しない)	
動作時 :	5~35°C
非動作時 :	-20~60°C
相対湿度 :	20~80%
電源 :	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力 :	最大52 W
スリープ モード時の消費電力 :	標準2 W未満

仕様（続き）

w2207モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ：	55.9 cm
表示可能画像サイズ：	22.0インチ/55.9 cm（対角方向）
傾斜角度：	-5~+25°
最大質量（非梱包時）：	9.0 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）	
（最高）：	481×523×289 mm
（最低）：	371×523×289 mm
最大グラフィックス解像度：	1680×1050（60 Hz）アナログ モード
最適グラフィックス解像度：	1680×1050（60 Hz）アナログ モード
テキスト モード：	720×400
ドット ピッチ：	0.282×0.282 mm
水平周波数（アナログ モード）：	24~83 kHz
垂直周波数（アナログ モード）：	50~76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5~35°C
非動作時：	-20~60°C
相対湿度：	20~80%
電源：	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大65 W
スリープ モード時の消費電力：	標準2 W未満

w2408モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCDアクティブ マトリクス
画面サイズ：	61.0 cm
表示可能画像サイズ：	24.0インチ/61.0 cm（対角方向）
傾斜角度：	-5~+25°
最大質量（非梱包時）：	9.8 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）	
（最高）：	500×586×289 mm
（最低）：	415×586×289 mm
最大グラフィックス解像度：	1920×1200（60 Hz）アナログ モード
最適グラフィックス解像度：	1920×1200（60 Hz）アナログ モード
テキスト モード：	720×400
ドット ピッチ：	0.282×0.282 mm
水平周波数（アナログ モード）：	24~94 kHz
垂直周波数（アナログ モード）：	48~85 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5~35°C
非動作時：	-20~60°C
相対湿度：	20~80%
電源：	100~240V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大130 W
スリープ モード時の消費電力：	標準2 W未満

プリセット ビデオ モード

このモニターでは、多くのプリセット ビデオ入力モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。最も一般的に使用されるディスプレイ解像度である次のモードが、工場出荷時に割り当てられます。

- vp15は、プリセット モード1~11をサポート
- vp17、vp19、およびFP1707は、プリセット モード1~15をサポート

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：**vp15、vp17、vp19、FP1707**

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.4	59.9
2	640×480	37.8	72.8
3	640×480	37.5	75.0
4	720×400	31.4	70.0
5	800×600	37.8	60.3
6	800×600	48.0	72.1
7	800×600	46.8	75.0
8	832×624	49.7	74.5
9	1024×768	48.3	60.0
10	1024×768	56.4	70.0
11	1024×768	60.0	75.0
12	1152×870	68.6	75.0
13	1152×900	71.7	76.1
14	1280×1024	63.9	60.2
15	1280×1024	79.9	75.0

- WF1907およびw1907は、プリセット モード1~16をサポート

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：**WF1907、w1907**

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.5	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	720×400	31.5	70.0
4	800×600	37.9	60.3
5	800×600	46.9	75.0
6	832×624	49.7	74.5
7	1024×768	48.4	60.0
8	1024×768	60.0	75.0
9	1152×720	44.9	60.0
10	1152×870	68.7	75.1
11	1152×900	61.8	65.9
12	1280×768	47.4	60.0
13	1280×960	60.0	60.0
14	1280×1024	63.9	60.0

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：WF1907、w1907（続き）

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
15	1280×1024	79.9	75.0
16	1440×900	55.9	59.9

■ w2007は、プリセット モード1～18をサポート

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：w2007

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.4	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	720×400	31.5	70.0
4	800×600	37.9	60.3
5	800×600	46.8	75.0
6	832×624	49.7	74.5
7	1024×768	48.3	60.0
8	1024×768	60.0	75.0
9	1024×768	68.6	85.0
10	1152×720	44.8	60.0
11	1152×870	68.7	75.0
12	1152×900	61.8	65.9
13	1280×768	47.4	76.1
14	1280×960	60.0	60.0
15	1280×1024	63.9	60.0
16	1280×1024	79.9	75.0
17	1440×900	59.9	59.9
18	1680×1050	65.2	60.0

■ w2207は、プリセット モード1~18をサポート

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：w2207

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.4	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	720×400	31.5	70.0
4	800×600	37.9	60.3
5	800×600	46.9	75.0
6	832×624	49.7	74.5
7	1024×768	48.4	60.0
8	1024×768	60.0	75.0
9	1152×720	44.8	60.0
10	1152×870	68.7	75.1
11	1152×900	61.8	65.9
12	1280×768	47.4	60.0
13	1280×960	60.0	60.0
14	1280×1024	63.9	60.0
15	1280×1024	79.9	75.0
16	1440×900	55.9	59.9
17	1600×1000	61.6	60.0
18	1680×1050	65.3	60.0

■ w2408は、プリセット モード1~24をサポート

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：w2408

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.5	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	720×400	31.5	70.0
4	800×600	37.9	60.3
5	800×600	46.9	75.0
6	832×624	49.7	74.5
7	1024×768	48.4	60.0
8	1024×768	60.0	75.0
9	1152×720	44.8	60.0
10	1152×870	68.7	75.1
11	1152×900	61.8	65.9
12	1280×768	47.4	60.0
13	1280×960	60.0	60.0
14	1280×1024	63.9	60.0

工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード：w2408（続き）

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
15	1280×1024	79.9	75.0
16	1440×900	55.9	59.9
17	1440×900	70.6	75.0
18	1600×1000	61.6	60.0
19	1680×1050	65.3	60.0
20	1600×1200	75.0	60.0
21	1600×1200	93.8	75.0
22	1920×1080	67.2	60.0
23	1920×1200	74.0	60.0
24	1920×1200	74.6	60.0

LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針

HP LCDモニタは、故障のない高い性能を保証できるようにするため、高度な規格に基づいて製造された高精度のテクノロジーを採用しています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供されるLCDディスプレイにも共通するものであり、HP LCDモニタに特有の問題ではありません。1つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル1つずつから成ります。
- 欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、また小さいため、特定の画面背景上でのみ確認できます。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニタを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から50 cmほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないディスプレイが生産されるようになることが期待されます。HPでは、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。

お使いのHP LCDモニタについて詳しくは、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/>を参照してください。

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～240VのAC電圧、50/60 Hz、1.5Aで動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は0.75 mm²/18 AWG以上、長さは1.5～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

有害物質の破棄

このHP製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光灯に含まれています。これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体またはEIA（Electronic Industry Alliance）（<http://www.eiae.org/>）にお問い合わせください。

電源コードについて

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。

同梱された電源コードは、ほかの製品では使用出来ません。

日本における含有物質の表示

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有に付きまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示に付きましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/>を参照してください。

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。

このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。

ENERGY STAR®は、米国政府が所有する登録商標です。



HPリサイクル プログラム

HPでは、使用済みのHP製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。

規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HPのリサイクル プログラムについては、HPのWebサイト（<http://h50055.www5.hp.com/ipg/supplies/recycling/hardware/jp/ja/household.asp>）を参照してください。



注：コンピュータに内蔵されているバッテリーは家庭用ごみとして捨てないでください。内蔵バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

PCリサイクルシール

「資源有効利用促進法」に基づき、ご家庭で使用済みとなったパソコンの、メーカー等による回収および再資源化がスタートしました。日本HPでは、個人のお客様の購入比率が高い本製品を家庭系パソコンリサイクル対象商品とし、PCリサイクルシールを製品本体に貼付して出荷しています。本シールの貼付された弊社製品が不要となった場合には、弊社にて回収再資源化を無償で実施します。

PCリサイクルシールには登録ナンバーが印字されておりますので、絶対にはがさないでください。万一、本シールをはがしたり紛失したりされますと、排出時に回収再資源化料金をご負担いただく場合がございます。

排出時の連絡先

日本ヒューレット・パカード株式会社 家庭系PCリサイクル窓口

■ 電話番号：0120-152523

■ FAX番号：045-441-2556

■ e-mail：pc-recycle@isp21.co.jp

■ 受付時間：月～金10:00～12:00/13:00～17:00

（休日：土、日、祝日、および年末年始等当社の休日）

※電話番号などの連絡先は、予告なく変更となる場合があります。その節はご容赦願います。

Part number: 440143-293